株式会社 京都銀行

京都銀行

産・官・学の連携による「京銀ふれあいの森」の保全・育成

平成 24 年 4 月、京都銀行は創立 70 周年記念事業の一環として京都府、京都モデルフォレスト協会と「森林の利用保全に関する協定」を締結し、これをもとに京都市北区上賀茂にある本山国有林の一部を「京銀ふれあいの森」として、林野庁、京都府、京都モデルフォレスト協会、京都産業大学および京都大学と連携し産・官・学で森林の保全・育成に取り組んでいます。

現在、行員が参加して作業道の整備や間伐、下草刈りなどの活動に励んでいるほか、平成 24 年秋に、幅広く森に親しんでいただこうと、一般公募で申込みされた小学生も参加して「京銀ふれあいの森」に手作りの巣箱をかけました。同 25 年 5 月には、その巣箱が鳥たちにどんなふうに使われているかを観察する「巣箱観察会」も開催しました。今後も、森に親しんでいただけるよう楽しい行事を企画する予定です。

森林整備・森林保全の活動状況

京都銀行は、「京都モデルフォレスト協会」がおこなっている森林整備活動に積極的に取り組んでいます。例年、放置竹林整備活動にも参加し、伐採した竹は竹灯籠などに加工され「京の七夕」各会場を彩り、京都観光活性化に役立てられるとともに、当行店舗のロビー展で、笹飾りの展示にも利用しています。

ほかにも、京都府下の防災環境保全林のモデルとして、平成 19 年に当行嵐山研修会館敷地内に、シラカシなど 51 種類、約 4,000 本の苗木を地元小学生や近隣の方々と植樹し、現在も「京銀ふるさとの森」として、下草刈りなど森の育成活動を継続して行っています。

環境問題に対する取組

地球温暖化などのさまざまな環境問題をかかえる今、1997 年京都議定書が採択された地元京都の本店銀行として、環境問題を重要な課題と位置づけ、諸問題の解決に積極的に取り組んでいます。

「京都モデルフォレスト協会」や「日本の森を守る地方銀行有志の会」のメンバーとして、美しい健全な森林を守り、未来に引き継ぐ活動を展開してまいります。

巣箱を観察

「京銀ふれあいの森」開山式

整備活動

巣箱かけプロジェクト

活動データ

◆企業・団体
名称：株式会社京都銀行
本店所在地：京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町 700 番地

◆協定
締結年月日：平成２４年４月２０日
協定メンバー：京都府、公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

◆活動
フィールド所在地：本山（もとやま）国有林の一部（京都市北区上賀茂）
面積：１５．２２ ha

協定調印式の様子